

第5回萱町・水上ビル
ストリートデザインワークショップ
の報告です



萱町通りと水上ビル（北側）の魅力づくりを地域みなさんで考えるためのワークショップを全5回にわたって開催してきました。この通信では、第5回の様子をお届けします。

<第5回ワークショップテーマ>

歩いて楽しい、出来事であふれるみちを育てよう



これまでのワークショップ



平成29年2月20日(月)19時より、第5回のストリートデザインワークショップが開催されました(会場|こども未来館ここに)。基本計画をまとめる最後の回として、萱町通りと水上ビル(北側)の両通り合同で開催しました。沿道の方や市民を中心に40名弱の人が集まり、平成28年8月からはじまったワークショップのふり返りを行いました。次に、これまでの議論をふまえ、とりまとめた基本計画案が提示され、各関係機関との調整をする中で前回案を改善したポイントについて、豊橋市まちなか活性課が説明しました。その後各通り3グループずつ、計6グループに分かれ、基本計画案への最後の意見出しと、地域で積極的に「みち」を育てていくために、当面の具体的な活動案について活発な議論をしました。グループワークの成果を全体で発表し、来年度以降の方向性を分かち合うことができました。

萱町通り 歩いて楽しい、出来事であふれる道を育てよう

これまでのワークショップで積み重ねてきた基本計画案について、言い残したことや、今後に向けての課題など、基本計画の実現に向けた最後の議論を行いました。

ワークショップで
出た意見

回遊性を生むために

- ・計画案には賛成だがこれだけでは回遊性は生まれない。
- ・工事中からお店の誘致なども積極的にやっていきたい。

もっと歩きやすく

- ・横断歩道の広さ、交差点の信号サイクルの見直し等をしてはどうか。
- ・雨天時に滑らない舗装の配慮を！

当日提示された計画素案

基本的な考え方

豊橋一上質な時間が過ごせる、出会いと潤いの都市空間

- ①「第一通り」にふさわしい
上品で親しみやすい雰囲気づくり
 >>> 空を広くとり、お店の顔が見通せる中心部の都会的空間づくり
 >>> 駅前大通・松葉公園など周辺のみどりと繋がり、潤いのある空間づくり
- ②安心して歩ける歩行空間と
機能的な自転車走行空間・車道
 >>> 歩行者と（早い）自転車の分離とセミフラット化
 >>> 温かみのある照明や歩きやすい歩道の舗装
- ③地域で守り育てるみどりの配置
 >>> プランターを中心とした樹木、草花の配置
- ④上質な時間が過ごせる滞留空間の形成
 >>> ゆとりと安心感のある滞留空間の整備・利活用



萱町地区（東海道～松葉大通り）のデザインイメージ

【照明】
ポラード照明とポール照明の組合せ。ポラード照明はバナーにより、第一通りにふさわしい色彩を加味。

【街路樹】
混合植栽により公園のような雰囲気に。

【植栽】
低木はプランター植栽。地域のニーズに応じて、実や色のある植栽を実現。

【駐輪場】
駐輪はサイクルスタンドなど可動式のものを選定。

【ベンチ】
街路樹を取り巻くようなベンチを整備し、憩いある休憩空間を確保。

【歩道舗装】
通行空間は大判ブロック舗装、滞留空間は木レンガ舗装とし、空間の役割を明示。

萱町地区（東海道～松葉大通り）の整備の考え方

高木を維持し、低木植栽はプランターとし、歩行空間を広く活用

自転車走行空間を車道路側帯に確保

断面図

木レンガ舗装

松葉公園より南は車道嵩上げにより歩車道の段差を5cm以内に解消

交差点舗装を変えることで、速度抑制と公園へのゲート性を演出

公園のみどりと連続した並木を残し、公園のような区間に

車道嵩上げ区間（～松葉公園まで）



第一通り地区（松葉大通り～駅前大通り）の整備の考え方

松葉大通り～広小路通りまではプランター植栽を中心とする（緑量はなるべく維持）

自転車走行空間を車道路側帯に確保

歩車道の段差を5cm以内に解消することで自動車乗り入れのすりつけを解消

速度抑制のためのハンプと路面標示を追加

交差点舗装を変えることで速度抑制とゲート性を演出

積極的に利活用を促し、にぎわいのもととなる空間へ

ゆったりとしたベンチを設置し、沿道事業者と来街者の交流の場に

第一通り地区（松葉大通り～駅前大通り）のデザインイメージ

【植栽】
低木はプランター植栽。地域のニーズによるが、実や色のある植栽を推奨。

【ベンチ】
座面が大きく、線形ではない形状のベンチにより、多様な滞留を促す。

【地上機】
彩色を見直すとともに、カウンター利用などの可能性を検討。

【利活用】
サイクルラック、イス・テーブルなど賑わい形成のための利活用を積極的に支援。

【歩道舗装】
通行空間は大判ブロック舗装、滞留空間は木レンガ舗装とし、空間の役割を明示。

西宿地区（駅前大通り～水上ビル）の整備の考え方

駅前大通りよりも南は、自動車交通量が更に多いことから、交通機能の維持を基本としつ他の区間のデザインを踏襲し連続性を確保する。

駅前大通りより南は車道嵩上げを行わず、歩車道の段差を現状と同等とする（15cm程度）

自転車走行空間確保の方法について検討中

再開発の出入り口周辺にベンチ等の設置を検討

安全な自転車走行のために

- ・花園通りとの交差点の外側線はまっすぐにした方が良い。
- ・特に交差点部について、歩道に入りやすい工夫も必要。
- ・駐輪禁止区域内にあって、駐輪ラックの設置と利用のルール化に工夫を。（沿道店舗での設置も含めての検討の必要性）
- ・荷捌き車両等がある通りのため、安全面で心配。

照明について

- ・電球交換等今後の管理を踏まえた上で道路照明の高さ・設置場所等について詳細に検討するべき。
- ・ポラード照明、沿道店舗からの照明の活用も含め、照明管理について新たなルール化を図る。

植栽について

- ・植替え、プランター植栽への変更はムクドリ対策にもなっていて良さそう。
- ・地元、行政に造園の専門家も交えて、勉強しながら樹種選びをしたい。
- ・景観の妨げとなる道路構造物は、彩色も良いが、プランターで目隠しする方法もある。

水上ビル（北側）歩いて楽しい、出来事であふれる道を育てよう

これまでのワークショップで積み重ねてきた基本計画案について、言い残したことや、今後に向けての課題など、基本計画の実現に向けた最後の議論を行いました。

当日提示された計画素案

基本的な考え方

水上ビルの営みに寄り添い、新しさや懐かしさが交わる生活空間

①水上ビルらしさと新しさが入り混じる通りとは？

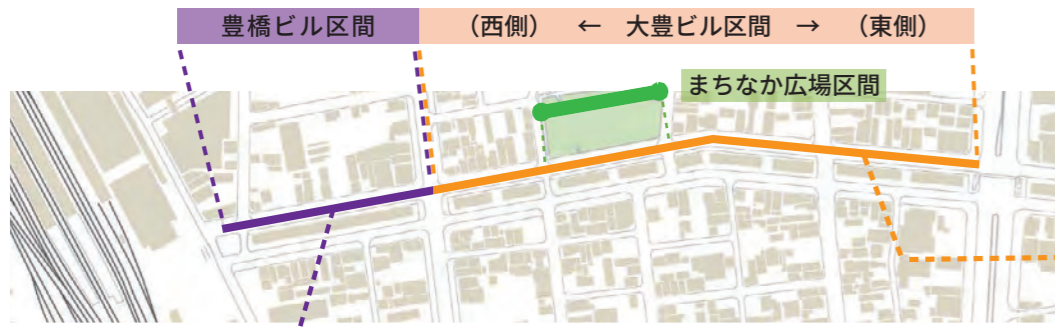
- 北側・南側（水上ビル側）の歩行空間の設えを差別化し対比を生む
- 舗装の統一により水上ビルの連続性の確保と人の流れを誘引
- ファサードの個性を残しながら新たな魅力を引き出す
舗装と照明の一体的なデザイン

②まちなか広場を取り込む賑わいの形成とは？

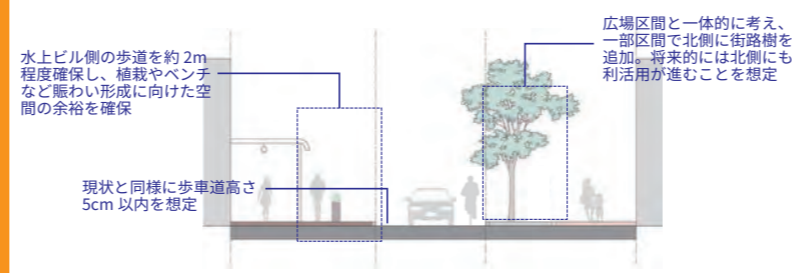
- 歩道の拡幅とフラット化を軸とした道路と広場の一体感を日常時・イベント時ともに感じられる歩行者中心の道づくり
- 道路と広場の一体感を感じられる高木の配置、舗装パターンの付与
- 道路が強調されすぎない歩車道境界のデザイン

③時間による変化（沿道・営み）を考えた通りのデザインとは？

- 区間によって異なる沿道の特性や営みの違いを考慮した設えを検討することで、時間の経過を通じて、より多くの人でにぎわう仕組みを構築



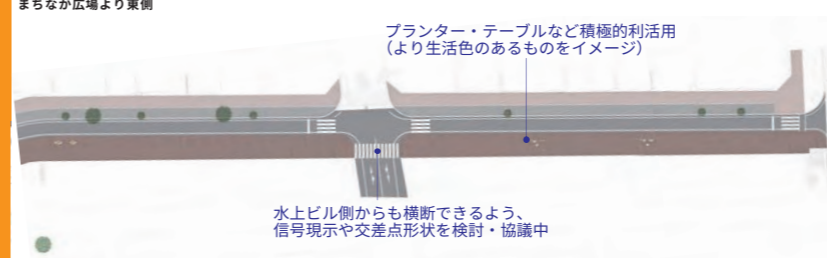
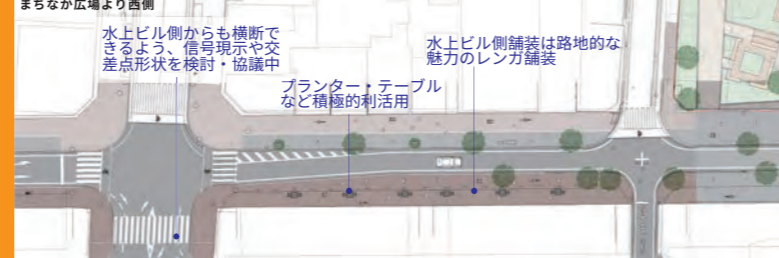
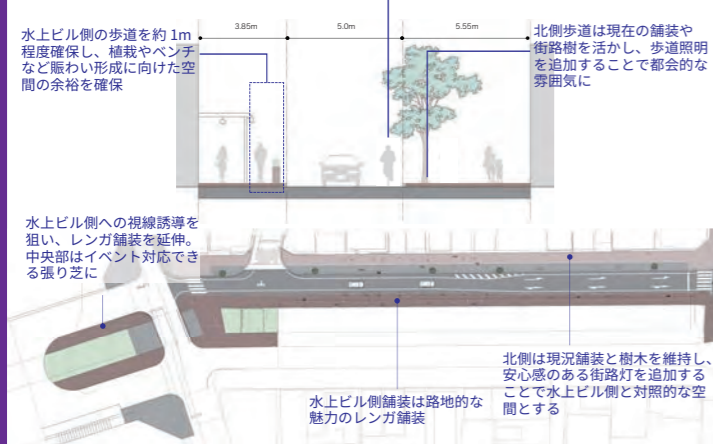
大豊ビル区間の整備の考え方



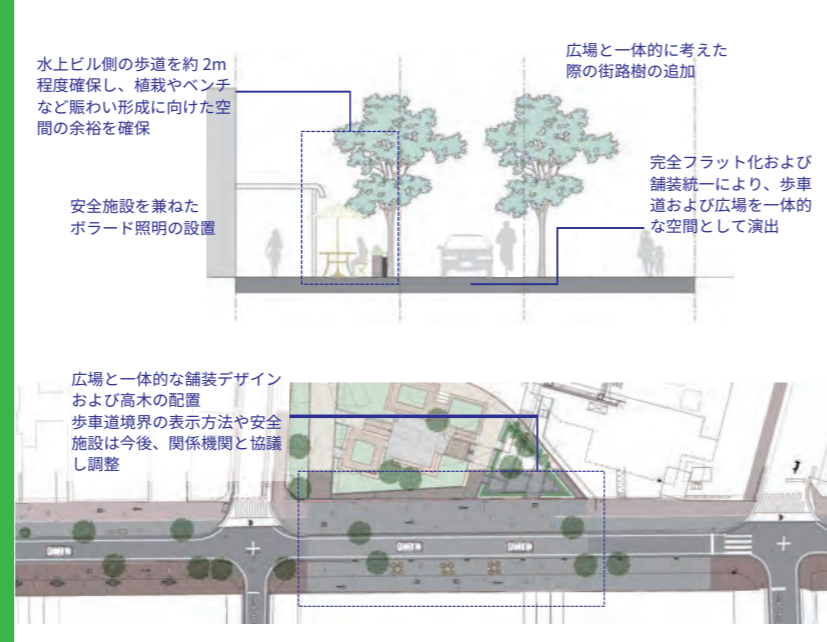
大豊ビル区間のデザインイメージ



豊橋ビル区間の整備の考え方



まちなか広場区間の整備の考え方



まちなか広場区間の整備の考え方



豊橋ビル区間のデザインイメージ



にぎわいを生むために
・常設のベンチは設置場所によって使われないベンチになる。
使いたくなる雰囲気づくりに配慮。

夜の景観
・現状本当に暗いのでぜひ照明を増やしてほしい。
・夜のあやしい魅力を持ち続けてほしい。

ワークショップで出た意見
全体にわたる意見
豊橋ビル区間に関する意見
まちなか広場区間に関する意見

沿道を含めての整備
・アーケードの屋根裏木製ルーバーのアイデアがカッコいい。地元で整備する箇所かもしれないが、道路整備だけでは充分ではないことがわかった。
・歩道に沿道の店の雰囲気ににじみだすように。

滞留空間について
・常設のベンチは使われなくなる心配がある。使いたくなる雰囲気づくりに配慮したい。

PLAT 前広場とのつながり
・PLATと一体的にイベントなどができるといい。
・駅からの動線上、水上ビルへの入り口にあたる景観デザイン。用水が見えるといい。

まちなか広場とのつながり
・フラット化・歩車道舗装統一は良いが、通過車両と歩行者の安全性の配慮が必要。
・雨水排水の敷地逆流に気を付けてほしい。

ミチのミチノリ

グループワークの後半は、各自「ミチのミチノリ」カードを記入し、発表しました。道路整備についてだけでなく、地域で積極的に「みち」を育てていくための活動や、活用についてのアイデアを出し合いました。

萱町通り

しくみ・体制・ルールづくりをしよう

- ・行政と市民、管理者の話し合いを継続すべき。
- ・維持管理に関する勉強会で地域の共通認識を育もう。
- ・緑の管理講習会の実施と緑のサポーター（植栽の維持管理の地元組織）育成が大事。
- ・店舗が協力して看板のルールづくりをしよう。
- ・自転車利用ルール（共通ラックの管理や利用のルールなど）を考えよう。

気軽に集まれる拠点づくりをしよう

- ・空き店舗を利用した誰もが利用できるスペースの確保をしたい。

工事中・オープンまでの間もPRしよう

- ・誘致したい店舗や企業へのPRをすべき。
- ・「萱町通り、生まれ変わります！」のポスターやパネルで沿道の人にPRしたほうがよい。
- ・将来像を工事中にもPRすべき。
- ・プレオープニングイベントをしよう。
- ・ホームページによる情報発信も大事。
- ・萱町通りを利用した写真大会の開催。整備前後の様子を発表しあうのも面白そう。

ワークショップを継続しよう！

- ・歩道の活用方法について、きめ細かく地域の意見を聞く場をもってほしい。
- ・若者、中年層の意見をまち並みに反映させるワークショップを実施してほしい。
- ・商店街の主体的な活動を促すワークショップの継続を期待したい。
- ・地元・行政に、専門家も加えて街路樹の選定などを行いたい。

みんなで景観を育もう

- ・プランターデザインコンテストをしよう。
- ・モバイル式プランターづくりはどうか。
- ・沿道が協力して外壁や看板に統一感をもたせる工夫を。

魅力的な店舗を誘致しよう

- ・オープンカフェのできるカフェの誘致をしよう。
- ・新しい店舗の誘致を進めるのも大事。

イベントを仕掛けよう

- ・朝市、大道芸など、多目的なイベントの提供を。
- ・盛り上がる系ワークショップ（空き家で〇〇しよう！若者をターゲットにした〇〇市）

水上ビル

しくみ・体制・ルールづくりをしよう

- ・年間の活用計画をつくろう。
- ・道路を活用し管理するための組織をつくろう。
- ・「利用のガイドライン」づくりを！
- ・通りのマネジメントとキュレーションのしくみをひらこう。
- ・木を愛でる会（街路樹の剪定、プランターの管理）やまちなかベンチ管理組合（ベンチの活用研究、レンタル、維持管理）、月曜定例掃除組合（週末に汚れた道をきれいに）の立ち上げを。

みんなでみちを育てよう

- ・学生と地元の共同でベンチづくり。
- ・狭間公園などの伐採樹木の活用も検討したい。
- ・住人や商店街が協力して定例で掃除。
- ・地域のマスコットになる動物を地域で飼育する。

水上ビルを活用して盛り上げよう

- ・住人によるルーフトップパーティなど、屋上の活用がしたい。
- ・ビル2F以上の照明の点灯も大事。
- ・トイレ・授乳室の解放も大事。

ワークショップを継続しよう！

- ・実施設計段階でもデザインに意見を出したい。
例) まちの明かりを考えよう（街灯・照明）
車を止めてみる社会実験の実施
駐輪場（自転車、バイク）、駐車場の確保
法定速度の見直し
- ・舗装の色、ファニチャーデザインなど、詳細の質で景観が決まる。
- ・歩道のオープンスペースを実際に使ってみるワークショップを実施したい。
- ・ワークショップを継続して、大学の授業の一環としても位置付けたい。
例) 90分5コマで良い提案は実際に社会実験してみる
- ・近隣マンション住民など、一般市民も関わられるように。

魅力的な店舗を誘致しよう

- ・おしゃれな文具店の誘致がしたい。
- ・まちづくりをビジネスにした拠点づくりがしたい。

イベントを通して盛り上げよう

- ・一年間のイベント計画をたてる。
- ・路上図書館、ひと箱古本市のようなイベントを開催しよう。
- ・路上キャンプがしたい。
- ・設計中も実験的なお試しイベントの実践をし、設計や使い方検討に生かしたい。

さいごに・・・

みなさんの関連な議論によって基本計画案がまとまりました。今後は、ものをつくるだけではない、本当の意味で公共空間を市民の手に取り戻すことを一緒に目指したいと思います。管理やルールづくりにおいても新しいやり方を生み出していきましょう。はじめから完成を目指すのではなく、トライ and エラーのプロセスを大事にしたいと思います。口と汗をみんなで出してやっていきましょう。



伊藤 紀治（豊橋市都市計画部 まちなか活性課長）

【アンケートより】

- 1) ワークショップに参加して
 - ・基本計画は、全てのWSでの案が反映されていた。・未来に向けてのポジティブな意見をとりかわすことができた。
- 2) 印象的だったこと、実践したいと思ったこと
 - ・街路樹はすごく難しい。地域の人の中でもいろいろな意見があった。維持管理の問題だけではない気がした。
 - ・基本計画が出来上がってきてそれに対して今度どうしていくか、というところへの問題意識を共有できたので良かった。
 - ・実験場としての継続を目標にしていきたいと思います。

- ・将来の完成後も踏まえ維持管理、使い方のワークショップを実践していきたい。
- 3) その他運営に関して
 - ・道は作ってもまだまだ管理や使い方話し合える機会があると思います。道への想いを持った人は大勢いる！！
 - ・設計段階でも市民・住民に意見を聞き続けることをしてほしい。
 - ・情報を時々いただきたい。お店でも案内できるポスター等があると良い。

みち・まちづくり宣言

～全5回のワークショップ意見にみる、
地域一体の動きづくりに向けて大切な視点～

目標像

萱町通り 豊橋一上質な時間が過ごせる、
出会いと潤いの都市空間

水上ビル（北側） 水上ビルの営みに寄り添い、
新しさと懐かしさが交わる生活空間

- 一、人が中心のみちへ
- 一、暮らしやすさと賑わいのバランスをとろう
- 一、公園、広場とのつながりをつくろう
- 一、沿道もふくめた一体的なみちまちづくりに取り組もう
- 一、みちの使いこなしのルールをつくろう
- 一、個性ある空間を育むために、使いこなしの実験を重ねよう
- 一、活動を仕掛けて賑わいある通りを育もう
- 一、オープンまでの動きをつくろう
- 一、安全で清潔なみちの維持管理をしよう
- 一、責任ある維持管理のための体制づくりをしよう

2017年3月

豊橋市ストリートデザイン
ワークショップ参加者一同